

こころに吹く風は … <カウンセリングルーム便り>

長かった夏休みが終わり、元気な子どもたちの声が戻ってきました。「おかえりなさい！」山や海、プールでたくましく日焼けした子どもたちの顔も一段と頼もしく見えたりしています。ひと夏の様々な体験が身も心も大きく成長させてくれたことでしょう。園庭では運動会の練習も始まりました。2学期もたくさんの楽しい行事があります。にこにこ明るいたくさんの笑顔に出会えることを楽しみにしています。

アドラー博士が教える

子どもの「がまんできる心」をひき出す本 より抜粋 NO2

「子育ての3つのプレゼント」

「我慢できない!」と思ってくじけそうになった時に、ぜひ読んでください。子育ては、こんな素敵な形で報われるのです。」

両親学校で、子どもを育てることには3つの贈り物があるんだよ、という話をします。1つ目は、**子どもの成長をこの目で見られること**です。初めておもちゃに小さな手を伸ばした日。初めて笑った日。初めてはいはいで進んだ日。初めてつかまり立ちした日。初めて一歩二歩とよろよろ踏み出した日。初めて「ママ」と声に出した日。

こうした喜びは、他のどんなことから得られない、かけがえのない贈り物です。日々の成長を見守りながら、人はこうやって育てていくんだな、自分もこうやって育ててもらったのかな…という思いをめぐらしたり、育てることを通して、学びながら、お母さん自身が大きく成長していくものです。

2つ目は、**人の輪が広がること**です。赤ちゃんを連れて歩いていると、今までになかった体験をしませんか?見知らぬ人が笑いかけたり、声をかけてくれたりするのは。子どもは決して一人では育てられないもの。大勢の人の輪の中で育っていきます。だから自然と、赤ちゃんは人を惹きつける魅力をもって生まれてくるのです。(中略) 3つ目は、**次の世代を育てるといふ社会への貢献**です。人は自分の満足だけではなく、社会の役に立つことで、本当の幸せを得られるもの。子育てという仕事は、自分の子どもというより、次の社会を担っていく「社会の子ども」を育てているのです。周囲と協力しながら子どもを育てていくことは、どんな大企業の社長さんよりも大切な事業と言えます。(中略) 私は、子育て中心か、仕事もしながら子育てしているかの違いに関わらず、お母さんたちがなさっていることは、**何より貴重な社会への貢献**だと思っています。

<青春出版社 星一郎>

「子育て中」の保護者の方々のためのカウンセリングはいつでもご予約できます。子育てに関するお悩みだけではなく、「なんとなく話してみたいこと」「ちょっとした日常の出来事」など、肩の力を抜いて、どうぞお気軽にお話しください。

木曜日の玄関先、もしくはカウンセリングルーム(おけいこ室)の私に直接お声掛けください。まずは大人が一日を笑顔で過ごせるよう、一緒に考えていきましょう。(☎予約 048-774-1046)